



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 片倉コープアグリ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4031 URL <https://www.katakuraco-op.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二井 英一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理本部長 (氏名) 杉本 真 TEL 03-5216-6611
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	18,237	△3.3	△104	—	△83	—	△65	—
2024年3月期中間期	18,858	△17.5	△237	—	△180	—	△140	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △77百万円 (—%) 2024年3月期中間期 △98百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△7.33	—
2024年3月期中間期	△15.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	47,017	23,303	49.5
2024年3月期	48,646	23,553	48.3

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 23,253百万円 2024年3月期 23,503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	34.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	14.0	1,000	—	1,000	—	600	—	66.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期中間期	10,161,686株	2024年3月期	10,161,686株
2025年3月期中間期	1,190,992株	2024年3月期	1,197,117株
2025年3月期中間期	8,967,243株	2024年3月期中間期	8,962,274株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際に業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料 2 ページ「1. 経営成績等の概況

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

肥料業界において、政府は、輸入原料依存から国内資源を活用した肥料への転換を進め、国際情勢に左右されにくい安定的な肥料の供給と持続可能な農業生産を目指しております。当社においても、畜産・食品由来堆肥や下水からの回収リンを使用した肥料の開発、化学農薬削減に向けた土壌還元消毒用資材等の販売を通じて、持続可能な農業の実現に取り組んでおります。

化学品事業における有機素材（化粧品原料）では、通常消費されない農業副産物を加工し、新たな付加価値を持たせたアップサイクル素材の提供に取り組んでおります。また、世界各国及び日本各地から厳選した天然素材に発酵・抽出技術を組み合わせた機能性素材を開発し、国内外での販売促進に力を入れております。さらに、無機素材では、海洋汚染が問題視されるマイクロプラスチックの代替として、透明感やマットな質感を持つ高品質なメイクアップ化粧品原料や、フードロス削減を目指したバリア機能を有する食品包装フィルム用合成マイカを積極的に海外展開しております。

しかしながら、当中間連結会計期間の経営成績は、主に不安定な市況が続く肥料事業の低迷を受け、売上高は18,237百万円（前年同期比3.3%減）、営業損失104百万円（前年同期は営業損失237百万円）、経常損失83百万円（前年同期は経常損失180百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失は65百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失140百万円）となりました。

各セグメント別の概況は以下の通りです。

第1四半期連結会計期間より、各セグメント損益の実態をより適切に反映させるため、全社費用の配賦基準の見直しを行っております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、見直し後の配分方法に基づいて作成したものを記載しております。

肥料事業は、一部の流通在庫解消や、6月の肥料価格値上がり前の駆け込み需要等により販売数量は増加したものの、前年6月以降の肥料価格値下がり幅が大きかった影響で、売上高14,609百万円（前年同期比3.7%減）、利益面においては前年同期比で改善しているものの、実需低迷等の影響により、セグメント損失316百万円（前年同期は397百万円の損失）となりました。

化学品事業は、無機素材の販売が好調に推移し、売上高2,803百万円（前年同期比2.2%増）、利益面においては化成品の原価率良化や、無機素材の売上増加等により、セグメント利益283百万円（前年同期比42.6%増）となりました。

不動産事業は、渋谷区において新たに土地交換で取得した土地に、賃貸用建物を建設中であることから賃料収入が減少し、売上高157百万円（前年同期比25.5%減）、セグメント利益13百万円（前年同期比74.4%減）となりました。

その他の事業は、連結子会社において運送・請負業務の価格改定により収益改善を図ったものの、設備工事等の受注減及び食品農産物の販売数量が減少し、売上高1,275百万円（前年同期比5.8%減）、セグメント損失15百万円（前年同期は26百万円の損失）となりました。

（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結業績を踏まえた2025年3月期の連結業績予想につきましては、前回発表の予想（2024年5月15日公表）から変更ありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,330	2,631
受取手形及び売掛金	11,237	8,084
商品及び製品	8,891	9,527
仕掛品	769	795
原材料及び貯蔵品	6,117	6,317
その他	777	639
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	30,119	27,994
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,920	5,749
機械装置及び運搬具（純額）	2,359	2,209
土地	7,351	7,351
その他（純額）	519	1,110
有形固定資産合計	16,150	16,420
無形固定資産	357	520
投資その他の資産		
その他	2,037	2,099
貸倒引当金	△18	△17
投資その他の資産合計	2,019	2,081
固定資産合計	18,527	19,022
資産合計	48,646	47,017

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,386	5,727
短期借入金	9,890	11,680
未払法人税等	29	77
賞与引当金	426	399
その他	1,867	1,360
流動負債合計	20,599	19,245
固定負債		
長期借入金	2,200	2,200
役員退職慰労引当金	187	176
退職給付に係る負債	1,309	1,257
資産除去債務	287	287
その他	510	547
固定負債合計	4,493	4,468
負債合計	25,093	23,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,214	4,214
資本剰余金	9,906	9,906
利益剰余金	10,139	9,893
自己株式	△1,403	△1,396
株主資本合計	22,856	22,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	260	254
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	0	0
退職給付に係る調整累計額	386	381
その他の包括利益累計額合計	647	636
非支配株主持分	49	49
純資産合計	23,553	23,303
負債純資産合計	48,646	47,017

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
売上高	18,858	18,237
売上原価	16,316	15,625
売上総利益	2,541	2,611
販売費及び一般管理費	2,778	2,716
営業損失（△）	△237	△104
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	8
持分法による投資利益	—	28
受取保険金	30	59
その他	52	36
営業外収益合計	90	133
営業外費用		
支払利息	20	39
持分法による投資損失	10	—
災害による損失	0	55
その他	2	16
営業外費用合計	33	111
経常損失（△）	△180	△83
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	58	—
特別利益合計	59	0
特別損失		
固定資産除売却損	36	10
その他	7	0
特別損失合計	43	11
税金等調整前中間純損失（△）	△164	△94
法人税、住民税及び事業税	△22	△28
法人税等調整額	△1	0
法人税等合計	△23	△28
中間純損失（△）	△141	△66
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△0	△0
親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△140	△65

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
中間純損失（△）	△141	△66
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	△5
繰延ヘッジ損益	△2	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
退職給付に係る調整額	2	△5
その他の包括利益合計	42	△11
中間包括利益	△98	△77
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△98	△76
非支配株主に係る中間包括利益	△0	△0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失 (△)	△164	△94
減価償却費	615	629
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△32	△10
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△82	△60
賞与引当金の増減額 (△は減少)	45	△26
受取利息及び受取配当金	△7	△8
支払利息	20	39
持分法による投資損益 (△は益)	10	△28
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
有形固定資産処分損益 (△は益)	36	10
投資有価証券売却損益 (△は益)	△58	—
受取保険金	△30	△59
災害による損失	0	55
売上債権の増減額 (△は増加)	4,085	3,155
棚卸資産の増減額 (△は増加)	48	△856
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,042	△2,659
未払金の増減額 (△は減少)	△743	△288
未払消費税等の増減額 (△は減少)	90	△258
その他	△430	△255
小計	2,358	△717
利息及び配当金の受取額	7	9
利息の支払額	△20	△39
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△950	467
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,393	△280
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の除却による支出	△31	△8
有形固定資産の取得による支出	△965	△798
有形固定資産の売却による収入	2	4
無形固定資産の取得による支出	△67	△181
投資有価証券の売却による収入	74	—
その他	2	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△983	△970
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△145	1,790
長期借入れによる収入	1,500	—
リース債務の返済による支出	△67	△57
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,084	△179
財務活動によるキャッシュ・フロー	202	1,551
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	613	301
現金及び現金同等物の期首残高	1,844	2,276
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,457	2,577

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

1．原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を繰延べております。

2．税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	肥料	化学品	不動産	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	15,143	2,655	—	17,799	851	18,650	—	18,650
その他の収益	—	—	207	207	—	207	—	207
外部顧客への売上高	15,143	2,655	207	18,006	851	18,858	—	18,858
セグメント間の内部売上高又は 振替高	21	87	4	113	502	615	△615	—
計	15,165	2,743	211	18,120	1,353	19,473	△615	18,858
セグメント利益又は損失(△)	△397	198	51	△147	△26	△173	△63	△237

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業、食品、農産物及び物資その他、プラント等の設計及び施工、運送業務等の各事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△63百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	肥料	化学品	不動産	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	14,557	2,701	—	17,259	825	18,084	—	18,084
その他の収益	—	—	153	153	—	153	—	153
外部顧客への売上高	14,557	2,701	153	17,412	825	18,237	—	18,237
セグメント間の内部売上高又は 振替高	51	102	4	158	450	609	△609	—
計	14,609	2,803	157	17,570	1,275	18,846	△609	18,237
セグメント利益又は損失(△)	△316	283	13	△19	△15	△34	△69	△104

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業、食品、農産物及び物資その他、プラント等の設計及び施工、運送業務等の各事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△69百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメント変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、各セグメント損益の実態をより適切に反映させるため、全社費用の配賦基準の見直しを行っております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、見直し後の配分方法に基づいて作成したものを記載しております。